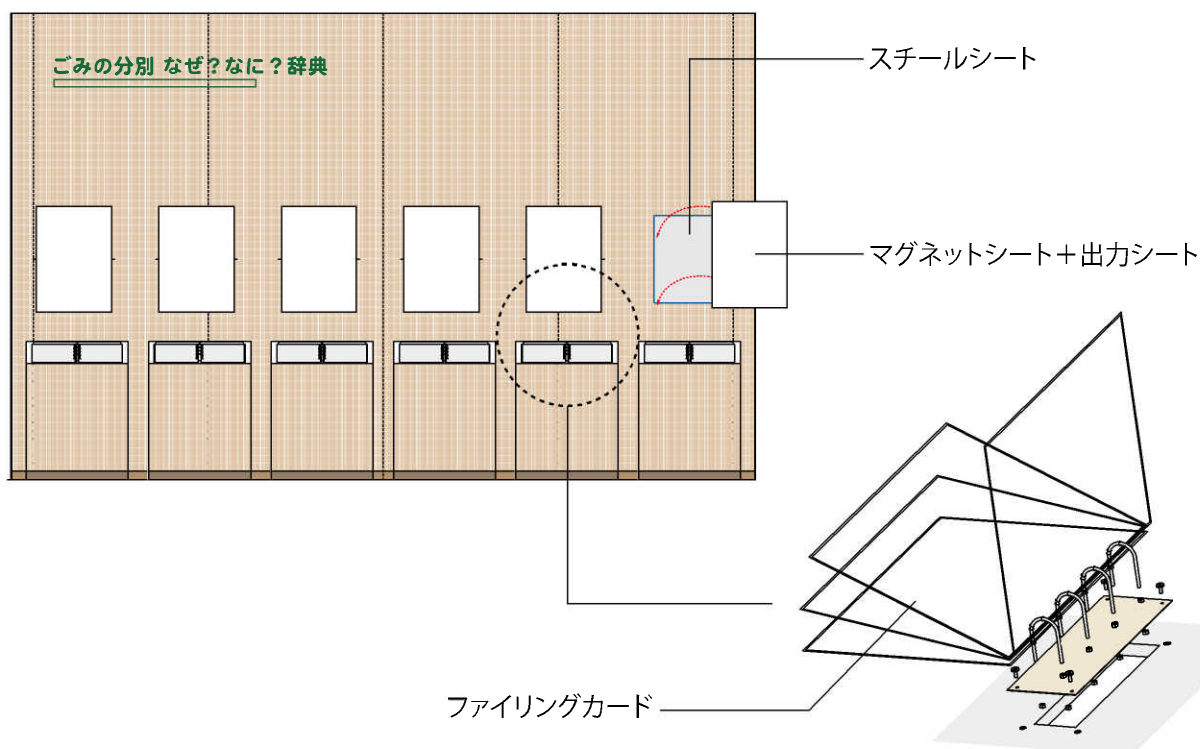


富士市新環境クリーンセンター 循環啓発棟

展示物等取扱説明書

循環啓発棟 展示室

循環-02	ごみの分別なぜなに事典		
サイズ・仕様	☐ W5,000×H3,200×D575 ☐ 木工下地化粧板仕上げ	数量	1台



取り扱いについて

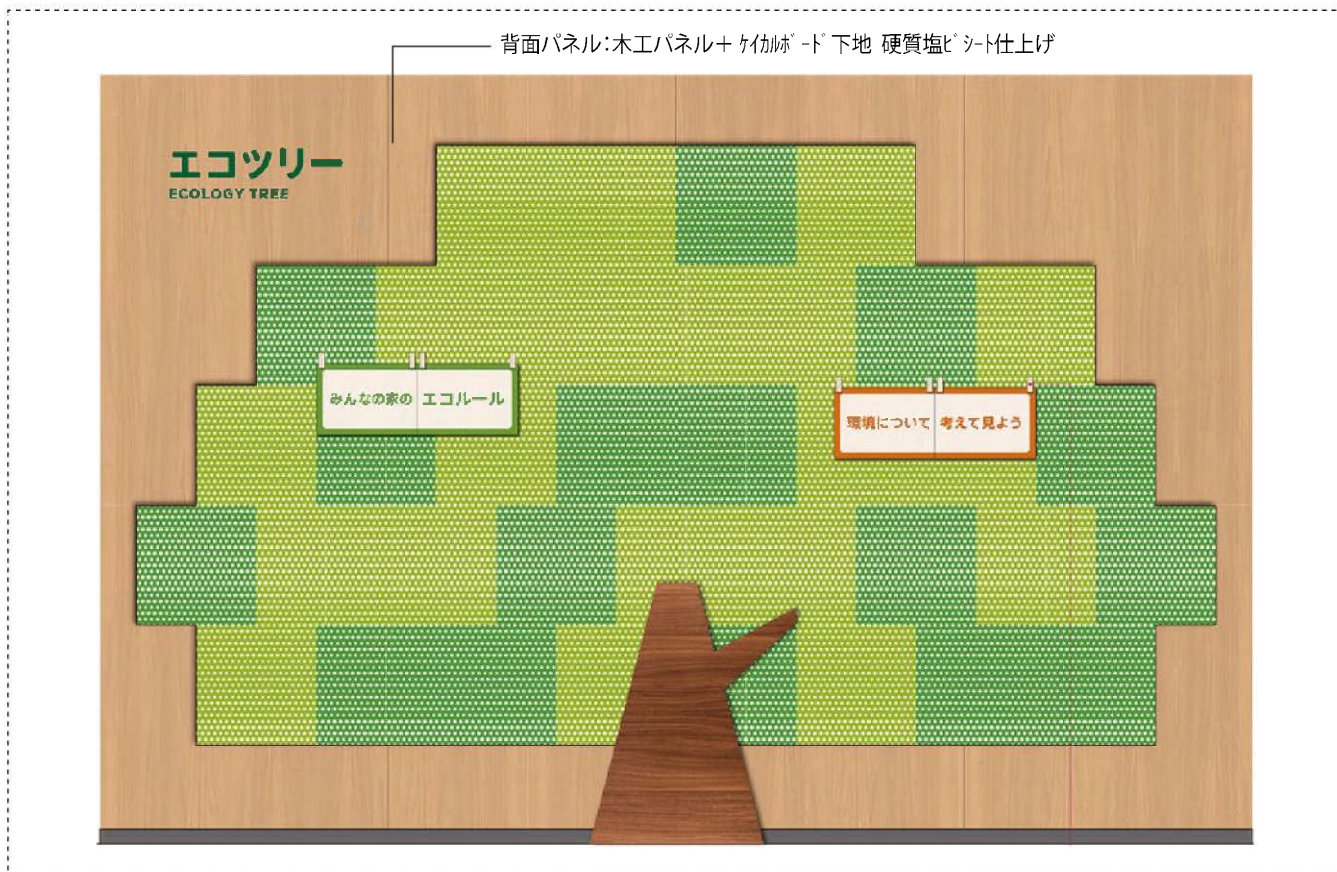
- 使用方法: 来館者用啓発パネル
- 利用上の注意
ページをめくって読む展示となります。ファイリングカードを必要以上に強く引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
- 日常清掃
乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。
- 汚れが目立つ時
掃除用洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。
- 注意事項
シンナー類の溶剤は保護層を溶かし、損傷するため、使用しないでください。
- 情報更新(ファイリング等について)
傾斜台のファイリングカードはA3サイズのパウチ仕上げ素材に、4穴を開けてファイリング情報を改訂することができます。
- ・ファイリングカードは穴あけ用パンチを使用して4穴をあけ、その穴部をハトメリングで補強します。
- ・ファイリング時は、ファイリングしている中央の金具をプレートごと台座から取り外します。プレート部の六角穴ボルトを抜き取れば、取り外しができます。
- ・ファイリングとなっているU字金具は、取り外したプレートの裏面のナットで固定されているので、このナットを外して、ファイリング作業を行います。
- ・壁面のグラフィックはマグネットシートに出力シートが貼られたもので壁面の白色スチールシート部分で脱着・入換が可能です。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ 六角レンチ

循環啓発棟 展示室

循環-03-1	エコツリー		
サイズ・仕様	☐ W4,800×H3,200×D75 ☐ 木工パネル+ケイカルボード®下地 硬質塩ビシート+スチール造作	数量	1台



取り扱いについて

■使用方法:来館者用啓発&メッセージパネル

- ・木の形を模した情報掲示板です。
- ・樹木の緑部分はスチール製の有孔パネルで、マグネットや穴を使用した掲示物の吊り下げが可能です。

■日常清掃

乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。

■汚れが目立つ時

掃除用中性洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。

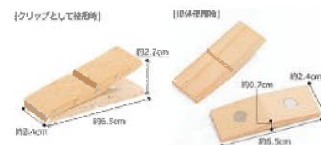
■注意事項

シンナー類の溶剤は保護層を溶かし、損傷するため、使用しないでください。

スチール有孔パネルの展示に必要なツール備品には、マグネット類のほか穴部を利用したフック等も取付できるものも製品としてあります。輸入生産品も多く、同等品での手配となる場合もあります。各種パーツについては、ご相談ください。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ 木製クリップ(マグネット式)×30個

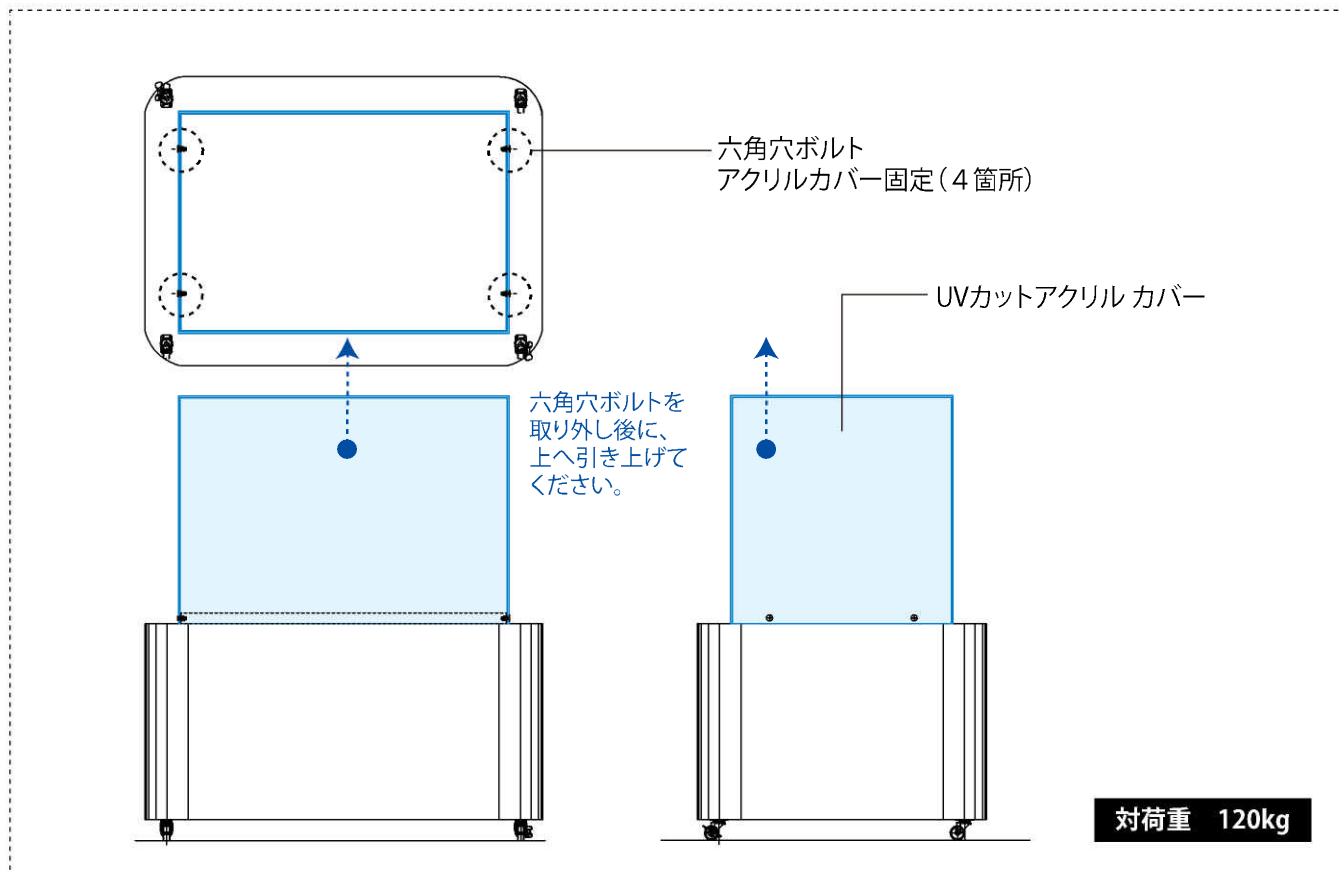


- ☐ マグネット (各種各色×20個)



循環啓発棟 展示室

循環-01	アート・オブジェ展示		
サイズ・仕様	☐ W1,100×H1,230×D800 ☐ 木工下地化粧板仕上げ	数量	1台



取り扱いについて

- 使用方法: 来館者用展示アート作品
- 利用時の注意
 - ・アクリルケースに体重をかけないでください。
 - ・指紋がつくと落ちにくくなりますので、なるべくケースに手を触れないように見学してください。
 - ・アートオブジェ等を収納して展示できるようにしています。
- 日常清掃

よく絞られたポリエステル製布による水拭き清掃としてください。
- 汚れが目立つ時

掃除用洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。
- アクリルカバーの清掃

アクリルカバーの拭き取り清掃については、帯電防止剤などを使用すると、拭き残りや拭きムラがでません。
- アクリルカバーの取り外し

アクリルカバーは側面各2箇所にある六角穴付きボルトで固定しています。
このネジを六角レンチで取り外し、アクリルカバーを上部に持ち上げてカバーを外します。アクリル製カバーは一定の圧力がかかると接合部が割れる可能性がありますので、2名で無理なく持ち上げ作業を行ってください。
- 注意事項
 - ・UVカットのアクリルを使用していますが、紫外線を完全にカットはできません。
内容物の劣化を抑えるため、直射日光のあたる場所は極力控えてください。
 - ・キャスターで移動が可能です。設置時は、必ずストッパーを使用ください。
 - ・シンナー類の溶剤は什器表面やアクリルカバーを溶かし、損傷するため使用しないでください。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ 六角レンチ

循環啓発棟 展示室

循環-01	アートオブジェ		
サイズ・仕様	☐ 素材：古新聞紙、接着剤、木材	数量	1台

アートオブジェ写真



取り扱いについて

■使用方法：来館者用展示アート作品

■日常清掃

ケース内に展示しているため不要です。

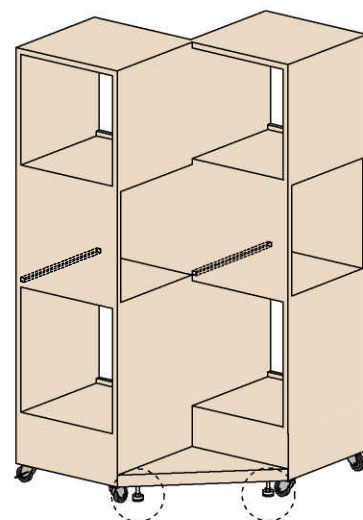
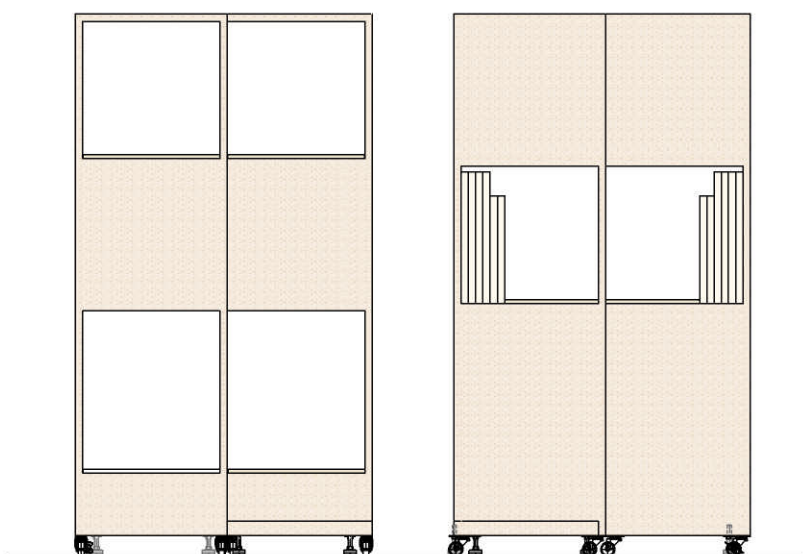
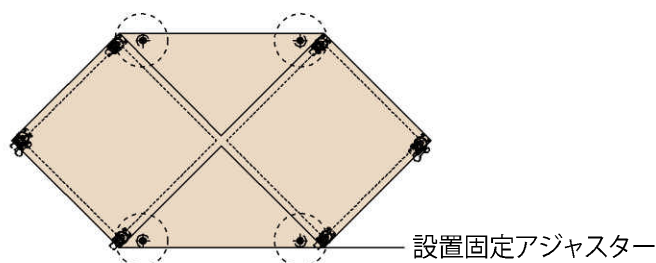
■注意事項

- ・新聞紙を用いた作品のため、劣化防止のため直射日光のあたる場所への展示は避けてください。
- ・経年にて色合いが変化しますが、その点も作品の表現の一部として、お楽しみください。
- ・作品に衝撃を与えることや、高温多湿の場所に展示することは破損の原因になります。

付属備品・必要ツールについて

循環啓発棟 展示室

循環-04-1	ライブラリー図書棚		
サイズ・仕様	☐ W820×H1,500×D820 ☐ 木工下地化粧板仕上げ	数量	2台



対荷重 180kg

取り扱いについて

■使用方法：来館者用図書棚什器
書籍等を収納して使います。

■利用上の注意

・台座にのったり、体重を強くかけたりしないでください。

■日常清掃

乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。

■汚れが目立つ時

掃除用洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。

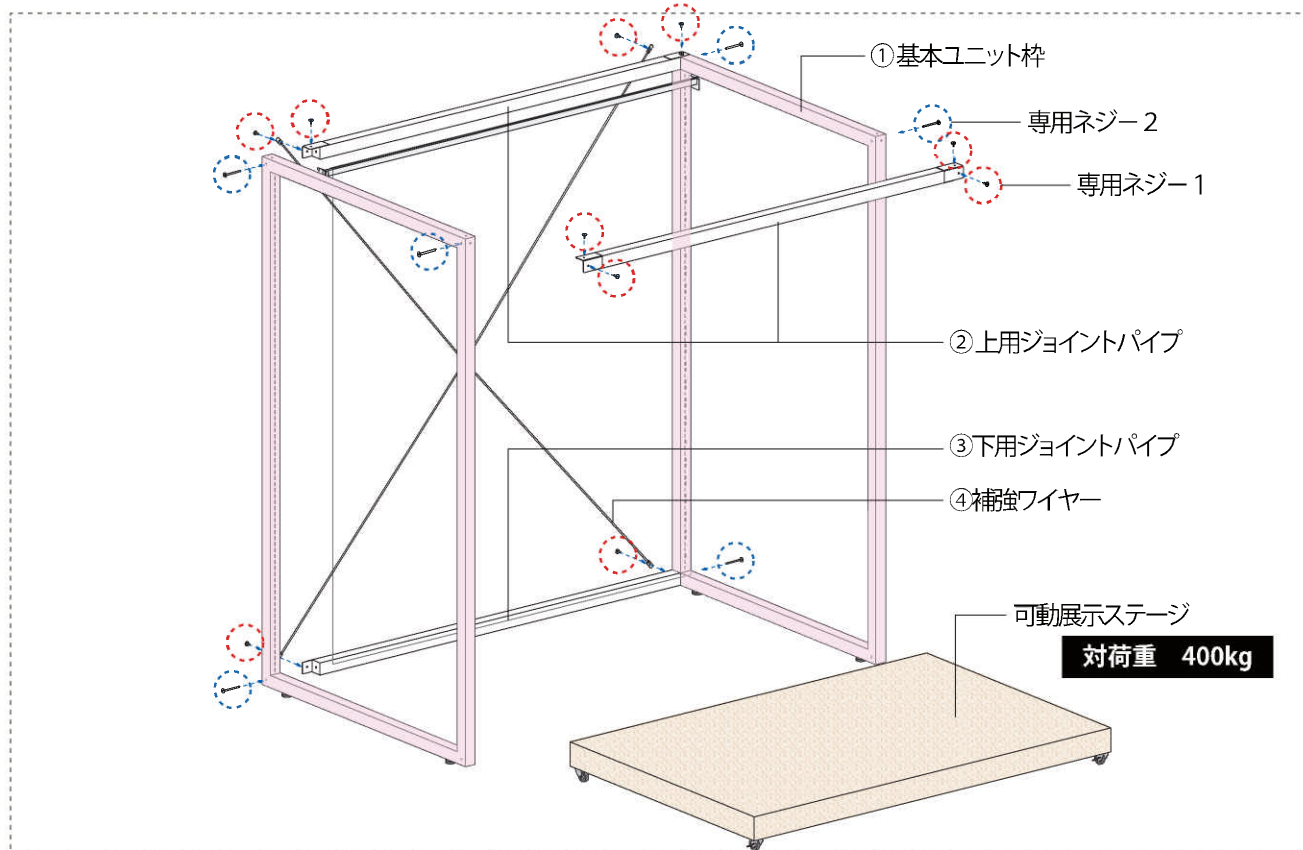
■注意事項

- ・キャスターで移動が可能です。
- ・設置時は、4か所のアジャスターすべてを床面に設置させて固定します。
- ・ストッパーやアジャスターは管理者が定期的に確認し、利用者の安全に配慮ください。
- ・シンナー類の溶剤は什器表面を溶かし、損傷するため使用しないでください。

付属備品・必要ツールについて

循環啓発棟 展示室

循環-07	いろいろゲット仕器-1（組立て）		
サイズ・仕様	☐ W1,900×H2,200×D1,300 ☐ 50角スチールパイプ 組み / 木工下地化粧板ステージ	数量	10セット



取り扱いについて

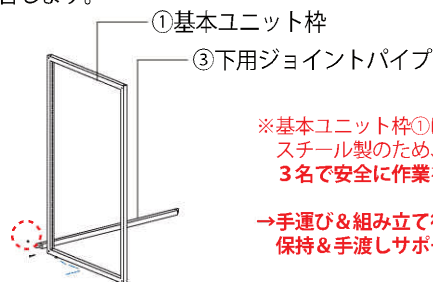
- 使用方法：来館者用展示ユニット仕器
さまざまなエコ製品やリサイクル品などの環境関連情報を紹介&PR展示します。
- 利用上の注意
 - ・フレームに体重をかけたり、ぶら下がったりしないでください。展示の際は、管理者側で重量の確認をし、過度に重たいものをかけないでください。
 - ・台座はストッパーをかけた状態でご使用いただくように利用者にお伝えください。
- 日常清掃
乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。
- 汚れが目立つ時
中性洗剤を使用して汚れを落としてください。
- 注意事項
 - ・可動展示ステージはキャスターで移動が可能です。設置時は、必ずストッパーを使用してください。
 - ・シンナー類の溶剤は表面や塗装を溶かし、損傷するため使用しないでください。
- 展示ブースの組み立て＆解体注意事項
 - ・右記の「組み立て方法」を参照ください。
 - ・作業には、最低3名の人員が必要です。
 - ・組み立てに必要な部材とツールがあることを確認して作業をはじめてください。
 - ・順次の差込み作業においては、中心部に基本ユニット枠の端部が集中しますので、作業手袋の装着など、指づめ等にはご注意ください。
 - ・解体作業については、組み立て手順と逆の手順で行います。
 - ・解体した部材やパーツを作業場所以外に仮置きできる場所を確保できるか確認して作業をはじめてください。
 - ・上部の組み立てパーツの取り外し時には、取り外しパーツの受け渡しや基本ユニット枠の支持サポートなど、組み立て時に行っていた手順の手抜きをすると、落下や脚立からの転落等の危険が高まりますので、解体時にも安全に作業を行ってください。
 - ・解体ごとに、解体したパーツや部材を仮置き場所に、部材毎に整理して仮置きします。部材の紛失防止のための数量確認や足元の安全を確保します。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ 1ブースに必要な部材
 - ① 基本ユニット枠（側面枠）× 2枚
 - ② 上用ジョイントパイプ × 2本
 - ③ 下用ジョイントパイプ × 1本
 - ④ 補強ワイヤー × 2本
 - 専用ネジ-1（長）× 6本
 - 専用ネジ-2（短）× 10本
- ☐ 必要なツール
 - ・六角レンチ
 - ・脚立

■ 組み立て方法（3人で作業してください）

ブース側面になる①基本ユニット枠を立てた状態で、③下用ジョイントパイプを基本ユニット枠と専用ネジを使用し接合します。



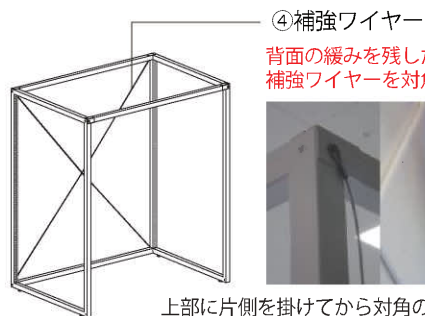
※基本ユニット枠①は重量のあるスチール製のため、3名で安全に作業を行います。

→手運び&組み立て役 ×2名
保持&手渡しサポート役×1名

専用ネジ 1 は、図-5に示す補強ワイヤーを取付けするため3mm程度の長さを残すように、緩やかにネジ締めしてください。

1

組みあがったフレームの振れ防止として、背面の専用ネジに補強ワイヤーを対角に掛けて取付けます。

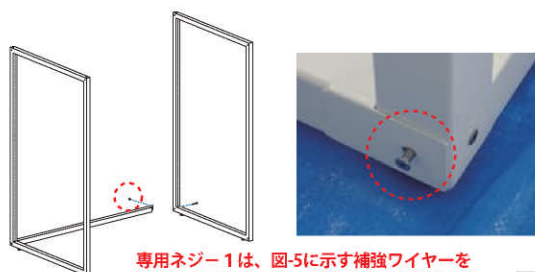


④補強ワイヤー
背面の緩みを残したネジを利用して補強ワイヤーを対角に掛けます。

上部に片側を掛けてから対角の下部に、ワイヤー先端に指を添えるように軽く引き込めば、力を入れず掛けられます。

5

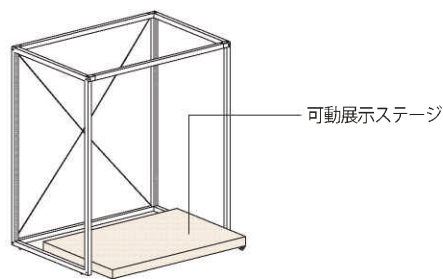
反対側の基本ユニット枠を立て、同じように接合します。この時、各基本ユニット枠が倒れないよう、組立て役の1名がそのまま基本ユニット枠を保持サポートします。



専用ネジ 1 は、図-5に示す補強ワイヤーを取付けするため、3mm程度の長さを残すように、緩やかにネジ締めしてください。

2

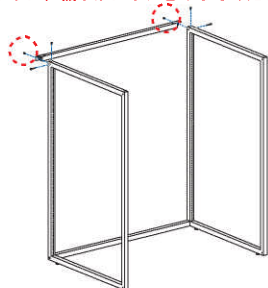
ワイヤーを掛けられたら、可動展示ステージをブース内部に設置するなど、計画に合わせた展示を行います。※両袖の基本ユニット枠は、十字型什器との共通パーツです。棚板や掲示板等のパーツを取付けすることも可能です。



6

両側の基本ユニット枠の上部を②上用ジョイントパイプを使用して、専用ネジで固定し、フレームをコの字型に組み上げます。

専用ネジ 1 は、図-5に示す補強ワイヤーを取付けするため、3mm程度の長さを残すように、緩やかにネジ締めしてください。

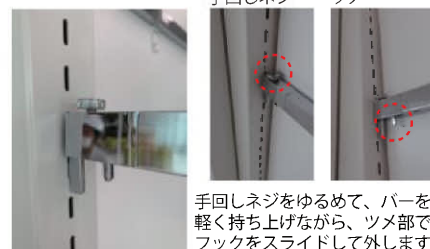


※各ネジは、一度で締め切らず、多少の緩みを残して組立てをすすめ、垂直&水平な接合調整（各接合箇所の必要ネジが全て入った状態）ができた時点でネジを締め上げるようにしなければ、ねじ穴が合わず、ネジが入らない場合がありますので、ご注意ください。

3

バナーサインの取付け（側面）

十字型什器と同様に、基本ユニット枠にハンガーバーをバナー上部のパイプ通し入れ、十字型什器と同様の要領で、側面のバナーは取付けします。



手回しネジ ツメ

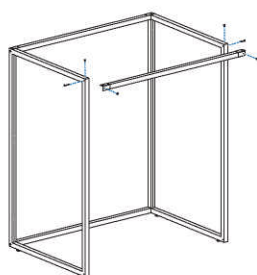
手回しネジをゆるめて、バーを軽く持ち上げながら、ツメ部でフックをスライドして外します。

ツメ部でフックのスライド操作をします



7

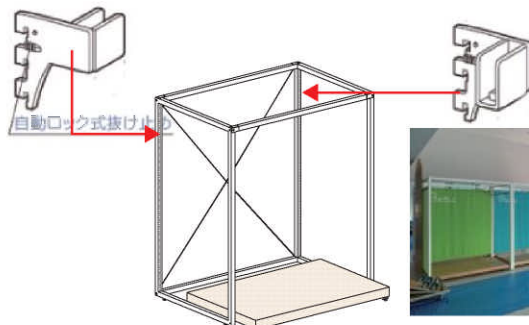
コの字型端部のブース前面上部を②上用ジョイントパイプでつなぎ、フレーム全体を固めます。



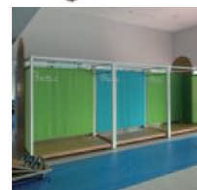
4

バナーサインの取付け（バック）

左右の基本ユニット枠にパイプ受けを両側の基本ユニット枠に取付け、バナー上部（角パイプ側）をパイプ受けに掛けます。



自動ロック式掛け具

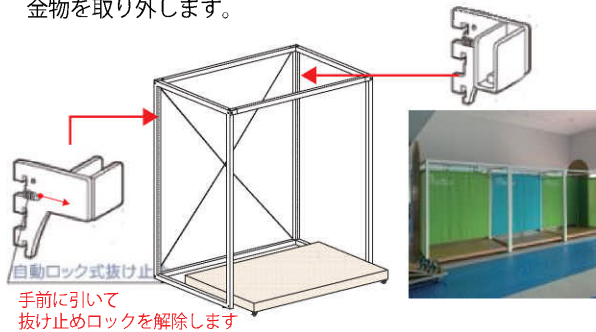


8

■ 解体方法（3人で作業してください）

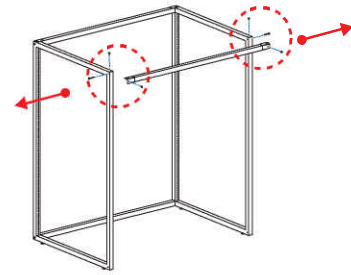
バナーサインの取り外し（バック）

左右のパイプ受けに掛けられた、バナー上部の角パイプを持ち上げて外した後、抜け止めロックを解除して左右のパイプ受け金物を取り外します。



1

ブース前面上部の固定ネジ3本×2箇所を抜き取り
②上用ジョイントパイプを取り外します。

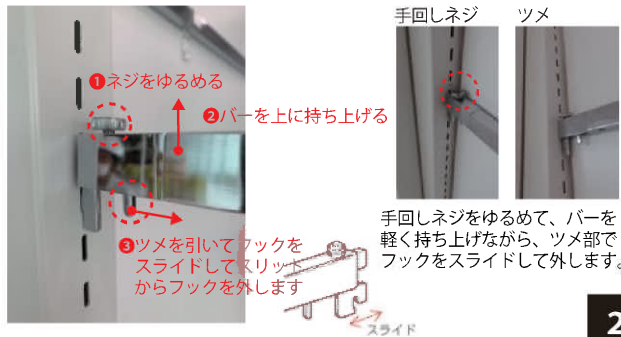


矢印方向の専用ネジ（長）を先に抜き取るようにすれば、長ネジを比較的スムーズに抜き取ることができます。

5

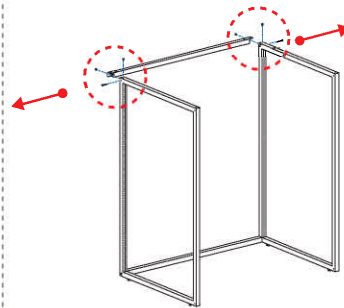
バナーサインの取り外し（側面）

基本ユニット枠スリットの内側にはめられたバナー付角パイプは、十字什器のハンガーバーと同様に取外します。



2

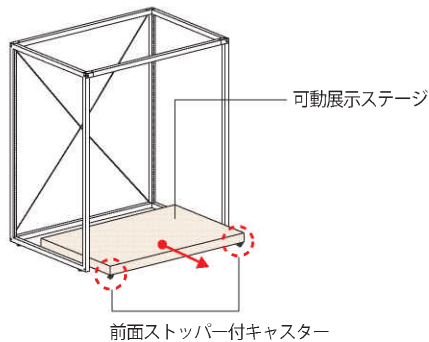
両側の①基本ユニット枠をつなぐ②上用ジョイントパイプを固定ネジ3本×2箇所を抜き取り、取り外します。
手順は先の作業と同様です。



※この作業から、作業員には3名が必要になります。
専用ネジの抜き取り&パイプ取り外しに1名、基本ユニット枠の保持サポートに2名にて作業を行い、基本ユニット枠の転倒を防止します。

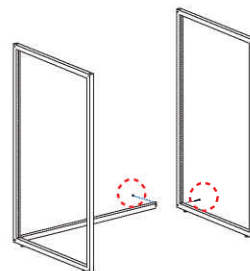
6

可動展示ステージ前面のキャスターのストッパーを解除してステージを抜き取ります。



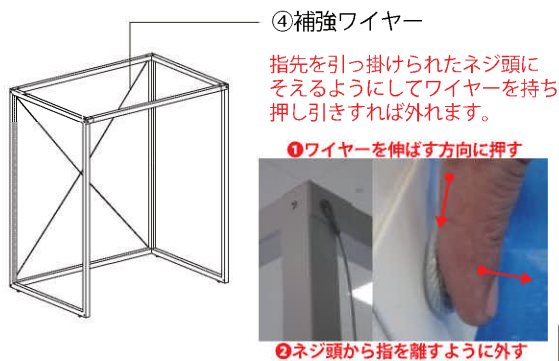
3

③下用ジョイントパイプと①基本ユニット枠をつなぐ片側2箇所固定ネジを抜き取り、基本ユニット枠を取り外します。



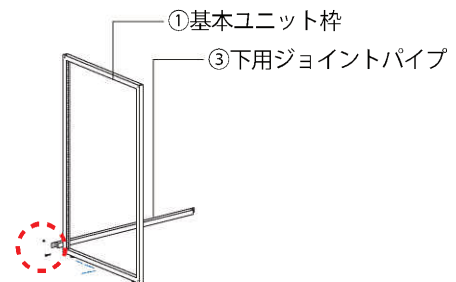
7

フレームの振れ防止として、背面の専用ネジに取り付けられた④補強ワイヤーを取り外します。



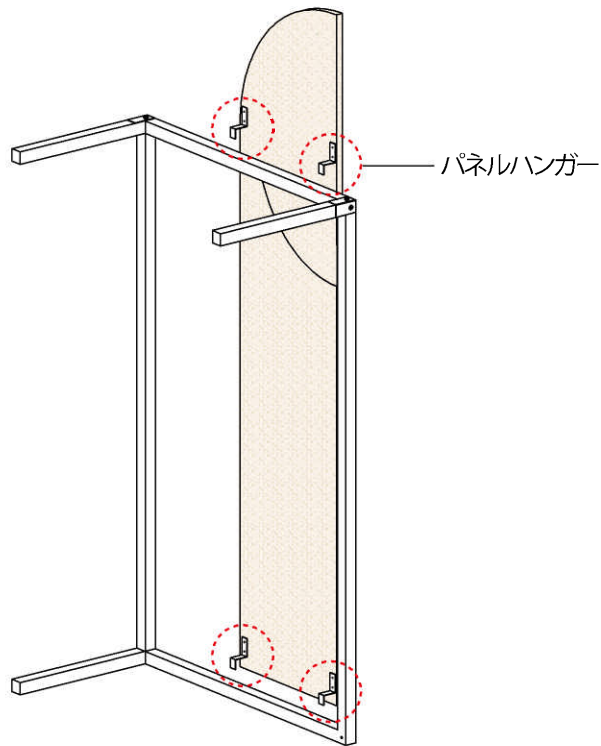
4

上記と同様の作業で解体作業を完了します。



8

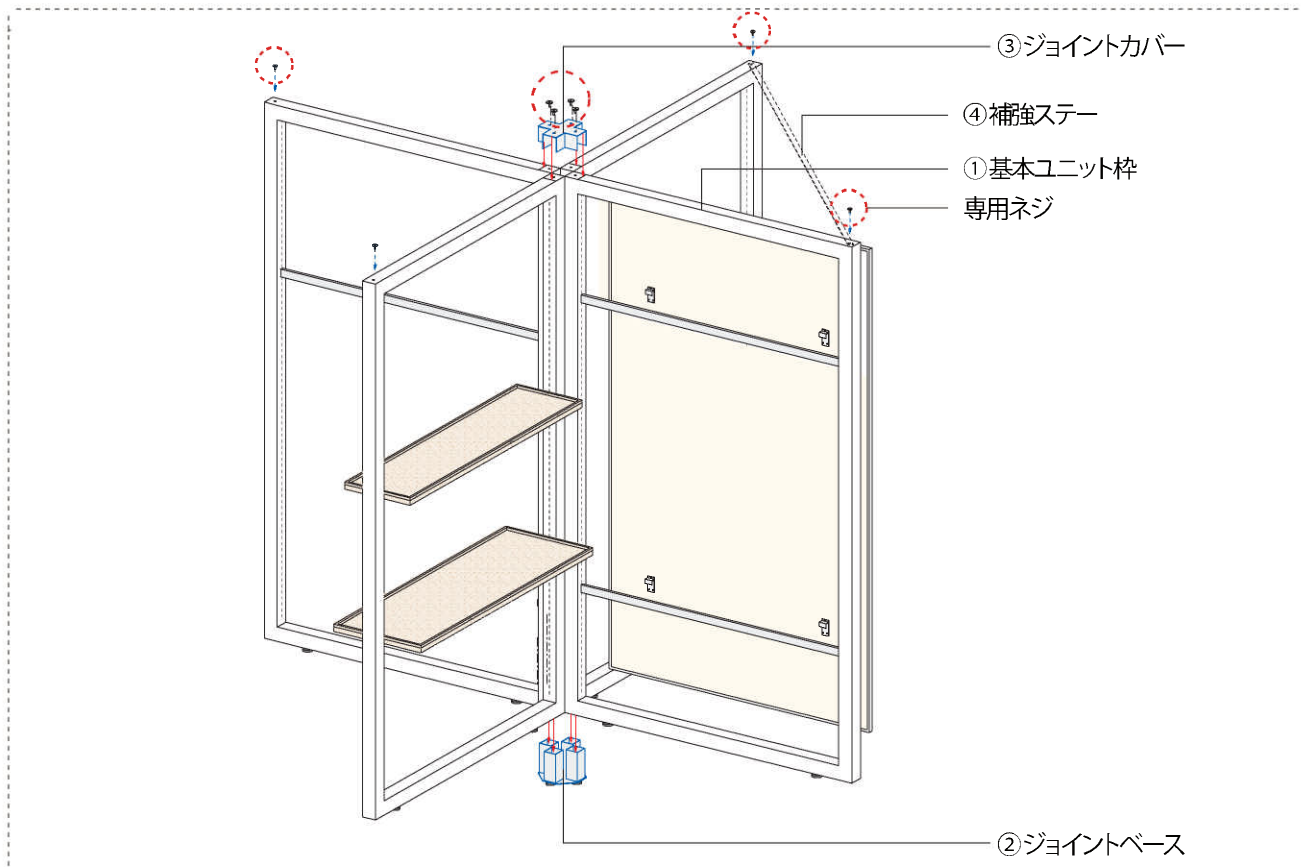
工場棟 2F			
循環-07	いろいろゲット什器-2（附属品）		
サイズ・仕様	☐ W600×H2,800×D20 ☐ 木工化粧板仕上げ	数量	右面用 3 枚 左面用 3 枚



取り扱いについて	付属備品・必要ツールについて
■使用方法：来館者用展示演出サイン ・展示ブースのコーナーサインとして使用します。 ■日常清掃 乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。 ■汚れが目立つ時 掃除用中性洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。 ■組立方法 パネル片側（右・左各面）に取り付けられた上下各 2 個のフックを、基本ユニット枠の上下パイプ部にハンギングで取付できます。	

循環啓発棟 展示室

循環-06	十字什器		
サイズ・仕様	☐ W2,650×H2,200×D2,650 ☐ 50角スチールパイプ組み / 木工下地化粧板 棚板 / 木工掲示パネル 柵	数量	2台



取り扱いについて

- 使用方法：来館者用展示ユニット什器
さまざまなエコ製品やリサイクル品などの環境関連情報を紹介・PR展示します。
- 利用上の注意
過度に重たいものをぶら下げたり、乗せたりしないように管理者側で管理をしてください。
- 日常清掃
乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。
- 汚れが目立つ時
中性洗剤やアルコールを作業場所を使用して汚れを落としてください。
- 注意事項
シンナー類の溶剤は表面や塗装を溶かし、損傷するため使用しないでください。
- 展示ブースの組み立て＆解体注意事項
 - ・組み立てには「組み立て方法」ページを参照ください。
 - ・作業には、最低3名の人員が必要です。
 - ・組み立てに必要な部材とツールがあることを確認して作業をはじめてください。
 - ・順次の差込み作業においては、中心部に基本ユニット枠の端部が集中しますので、作業手袋の装着など、指づめ等にはご注意ください。
 - ・解体には「解体方法」ページを参照ください。
 - ・解体作業については、組み立て手順と逆の手順で行います。
 - ・解体した部材やパーツを作業場所以外に仮置きできる場所を確保できるか確認して作業をはじめてください。
 - ・上部の組み立てパーツの取り外し時には、取り外しパーツの受け渡しや基本ユニット枠の支持サポートなど、組み立て時に行っていた手順の手抜きをすると、落下や脚立からの転落等の危険が高まりますので、解体時にも安全に作業を行ってください。
 - ・解体ごとに、解体したパーツや部材を仮置き場所に、部材毎に整理して仮置きします。部材の紛失防止のための数量確認や足元の安全を確保します。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ 1ブースに必要な部材
 - ① 基本ユニット枠 × 4枚
 - ② ジョイントベース × 1台
 - ③ ジョイントカバー × 1個
 - ④ 補強ステー × 2本
 - 専用ネジ × 8本
- ☐ 必要なツール
 - ・六角レンチ
 - ・脚立・脚台

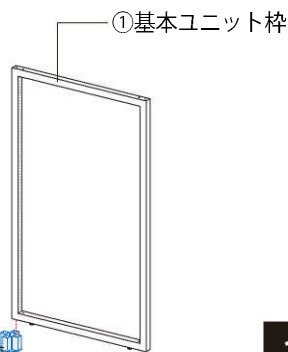
■ 組み立て方法（3人で作業してください）

什器を設置したい場所の中央部に②ジョイントベースを置き
①基本ユニット枠をジョイントベースのパイプに
まっすぐ差込みます。

※基本ユニット枠①は重量のある
スチール製のため、
3名で安全に作業を行います。

→手運び&組み立て役 ×2名
保持&手渡しサポート役×1名

②ジョイントベース

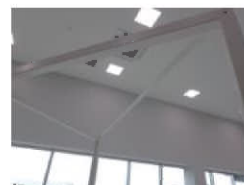
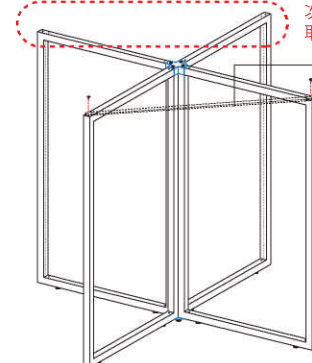


1

直角になる2枚基本ユニット枠の上部に④補強ステーを渡して
専用ネジで固定します。

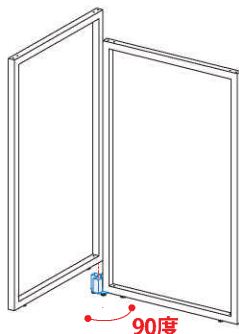
次に、対角になる2枚にも補強ステーを
取付けします。

④補強ステー



5

1名が差込み完了した部分を倒れないよう保持しながら
2枚目の基本ユニット枠を1枚目と90度の角度になるよう
同様に差込み、組立て中の什器が倒れにくくなる手順で
作業を行います。



2

ハンガーバーの取付け

基本ユニット枠内側にあるスリットを利用して、ハンガーバー
を取付けることができます。

ハンガーバー

手回しネジ

ツメ



手回しネジをゆるめて、バーを
軽く持ち上げながら、ツメ部で
フックをスライドして外します。

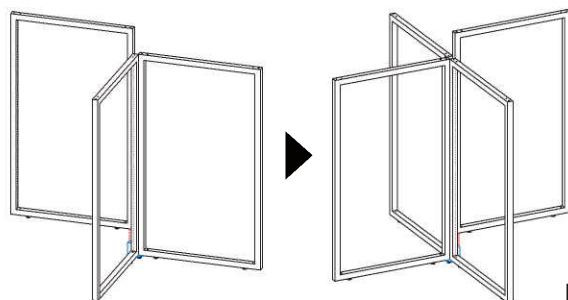
ツメ部でフックのスライド操作をします

6

同様の手順で3枚目～4枚目の基本ユニット枠を差込みます。

3枚目の設置

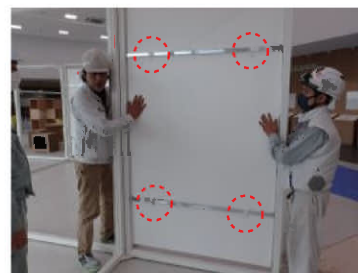
4枚目の設置



3

掲示パネルの取付け

パネルを両手で挟むようにして、2名でパネルを保持し、掲示
パネルを2本のハンガーバーに4つのフックがかかるように
して引っ掛けて、取付けます。

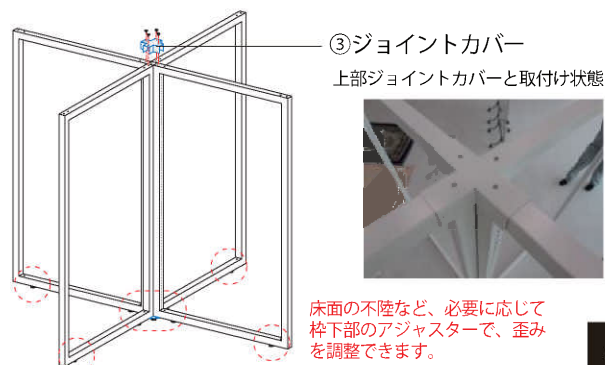


フックを引っ掛けた状態

4つのフック

7

十字に枠が構成できたら、上部に③ジョイントカバーを取付け、
4枚の基本ユニット枠と専用ネジで接合します。



③ジョイントカバー

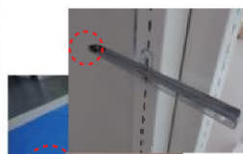
上部ジョイントカバーと取付け状態

床面の不陸など、必要に応じて
枠下部のアジャスターで、歪み
を調整できます。

4

棚板パネルの取付け

棚受け金具を使用して、棚板パネルを設置します。
棚受け金具は棚板のサイズに応じたサイズの金具を対面になる
スリット穴と高さを合わせて取付け、その上に棚板のせます。



棚板裏の溝に棚受け金具の端を
はめ込まれ、棚板が固定
されます。

8

■ 解体方法（3人で作業してください）

棚板パネルの取付け

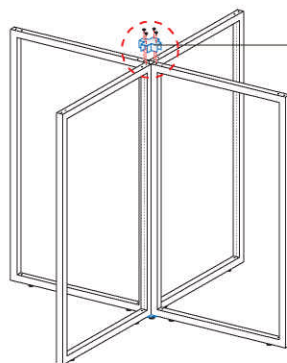
棚板は、写真右の棚受け金具を使用しています。棚板を上を持ち上げれば、棚板パネルが金具から外れます。棚板を外した後、柱両側ハンギングされた金具をスリットから外します。



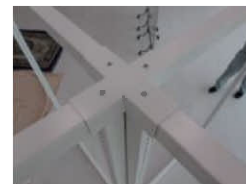
棚板裏の溝に棚受け金具の端をはめ込まれ、棚板が固定されます。

1

4枚の基本ユニット枠を接合している③ジョイントカバー上部の固定ネジを六角レンチで抜き取り、カバーを取り外します。



③ジョイントカバーと固定ネジ



上部ジョイントカバーの取付け状態

5

掲示パネルの取り外し

2名で掲示パネルを写真のように両手で挟み込むようにして持ち上げ、上下2本のハンガーバーに掛けられたパネルフックを外します。パネルは重いので、そのままゆっくりと、一旦床面に下ろしてから、持ち変えて運びます。

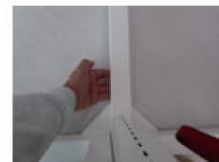
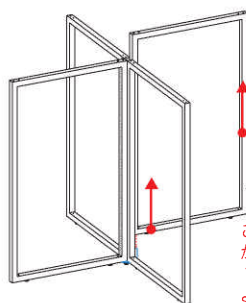


フックで掛けられた状態

4つのフック

2

基本ユニット枠は、中央の①ジョイントベースに差し込まれていますので、1名が写真のように枠中央部の下辺に手を入れ、もう1名が枠外側を持って、水平を保つように30cmほど持ち上げると基本ユニット枠を抜き取ることができます。



①基本ユニット枠

ここからの作業は3名で行います。2名が基本ユニット枠の抜き取り～運搬を行い、1名は抜き取り解体される枠体が倒れないように保持やサポートをします。

6

ハンガーバーの取り外し

基本ユニット枠スリットの内側にはめられたハンガーバーは

ハンガーバー



手回しネジ ツメ



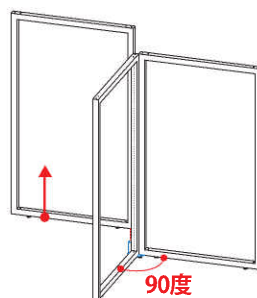
手回しネジをゆるめて、バーを軽く持ち上げながら、ツメ部でフックをスライドして外します。

スライド

3

2枚目の取り外し

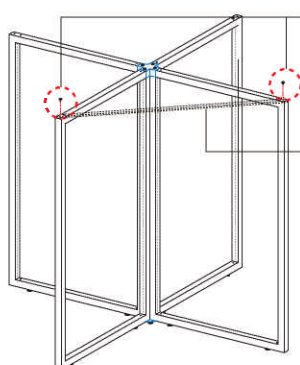
倒れ抑止のため、90度の2枚を残すように基本ユニット枠を抜き取ります。



90度

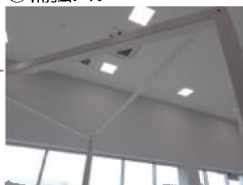
7

基本ユニット枠上部の④補強ステーの固定ネジを抜いて、取り補強ステーを取り外します。



固定ネジを六角レンチで外します

④補強ステー

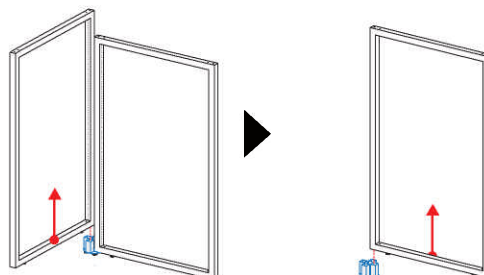


固定ネジを抜くと補強ステーは自重でしなり、落下する危険もあります。2本目の固定ネジを抜く時は、ステーの保持をして行ってください。

4

同様の手順で3～4枚目の基本ユニット枠を抜き取ります。

3枚目の取り外し



②ジョイントベース

8

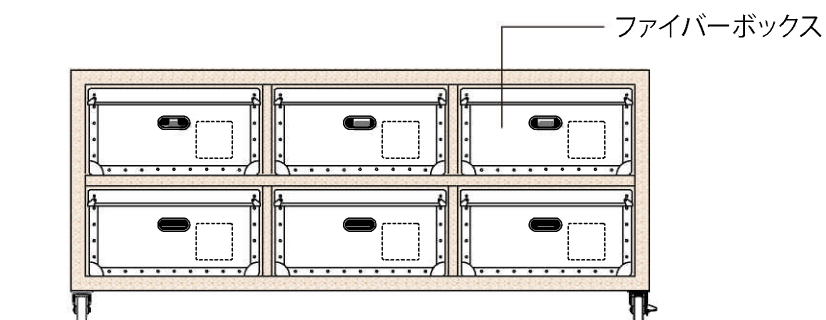
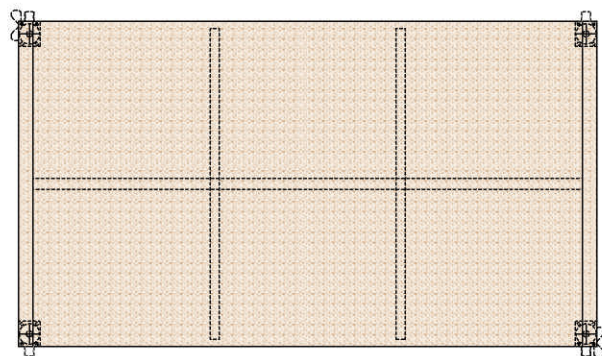
循環啓発棟			
	きらきらアート棚		
仕様	☐ 木工無垢材使用 ☐ 既製品	個数	6台



取り扱いについて	付属備品・必要ツールについて
■使用方法: ディスプレイ用棚 ■利用上の注意 棚にもたれかかったり、体重をかけるなど、過度の荷重や負荷をかけないでください。 ■日常清掃 乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。 ■注意事項 アルコールやシンナー溶剤系の薬剤を使用すると塗装仕上げを損傷するため、使用しないでください。	

循環啓発棟 展示室

循環-05	富士ものコトボックス		
サイズ・仕様	☐ W1600×H700×D900 ☐ 木工下地化粧板仕上げ	数量	1台



対荷重 120kg

取り扱いについて

■使用方法: 来館者用体験学習ツール収納什器
 すごろくやパズルなど、遊べる道具を収納して使います。

■日常清掃
 乾拭き、もしくはよく絞られた布等による水拭き清掃としてください。

■汚れが目立つ時
 掃除用洗剤やアルコールを使用して汚れを落としてください。

■注意事項

- ・キャスターで移動が可能です。設置時は、必ずストッパーを使用ください。
- ・ファイバーボックスには種類ごとに分類した体験学習キットを収納します。
- ・ファイバーボックスの取手を掴み、ボックスを引き出します。
 内容物によって重たいものになるため、ボックスの抜き出し時には、注意が必要です。
- ・シンナー類の溶剤は什器表面やファイバーボックス各所を溶かし、損傷するため、使用しないでください。

付属備品・必要ツールについて

- ☐ ファイバーボックス×12箱